

八代市人口ビジョン・総合戦略策定支援業務

八代市への移住に関するアンケート調査結果

目次

1. 調査の概要	1
2. 八代市への移住に関するアンケート調査結果	2
2-1 属性	2
2-2 八代市を転出した時期・理由	4
2-3 現在地と八代市の住み良さの違い	5
2-4 八代市への移住意向	8
2-5 八代市への移住時に必要な情報・支援	12
2-6 八代市を移住先を選ばない理由	15
2-7 八代市での暮らしのイメージ	19

1. 調査の概要

- 八代市における人口の将来展望に係る意識調査として、「八代市への移住に関するアンケート調査」を実施した。

八代市への移住に関するアンケート調査実施概要

項目	概要
調査目的	<ul style="list-style-type: none">●八代市を転出した時期・理由の把握●現在地と八代市の住み良さの違いの把握●八代市への移住意向の把握●八代市への移住時に必要な情報・支援の把握●八代市を移住先に選ばない理由の把握●八代市での暮らしのイメージの把握
調査対象者	・「やつしろの風」会員（平成27年8月時点1208人）
調査方法	・郵送配布（「やつしろの風」に同封）・郵送回収
調査期間	・平成27年9月1日～9月30日
回収状況	・208票（回収率17.2%）

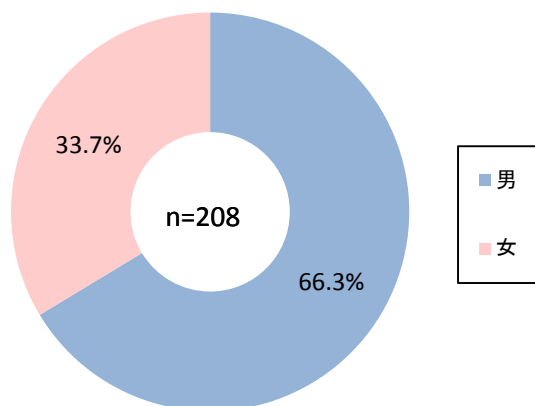
2. 八代市への移住に関するアンケート調査結果

2-1 属性

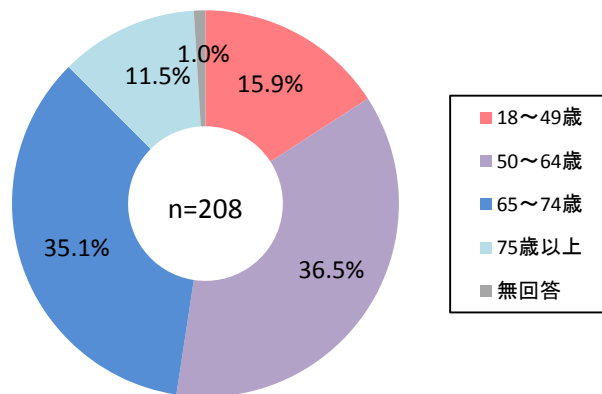
- 回答者の男女比は、男性 66.3%、女性 33.7%である。
- 年齢階層は、50～64 歳が最も多く 36.5%、次いで 65 歳～74 歳が 35.1%であり、子育て世代となる 18～49 歳の階層は 15.9%である。
- 職業は、パート・アルバイトを含めた有職者が半数以上、無職が 35.6%である。なお、学生の回答者はゼロであった。

回答者の属性(1)

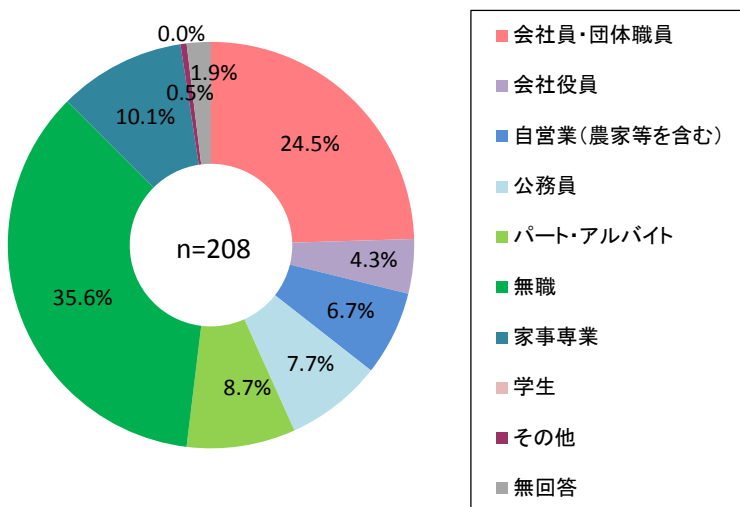
<性別 (問 1) >



<年齢 (問 1) >



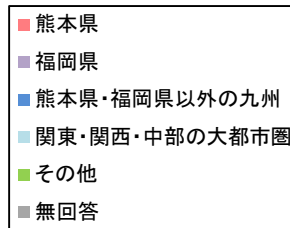
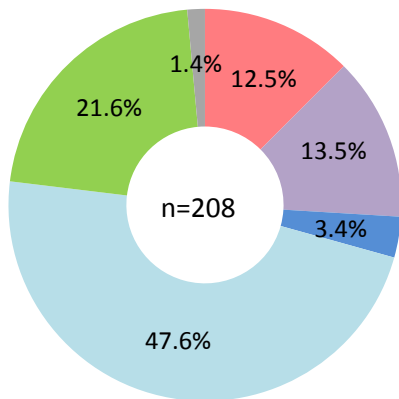
<職業 (問 1) >



- 現在地（現在の住所）は、関東・関西・中部の大都市圏が最も多く 47.6%、福岡県 13.5%、熊本県 12.5%である。
- 出身地は、回答者の 78.8%が八代市であり、八代市外は 20.7%である。なお、八代市外出身者のうち最も多い出身県は、熊本県である。

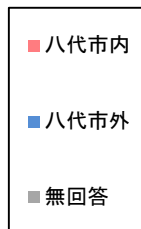
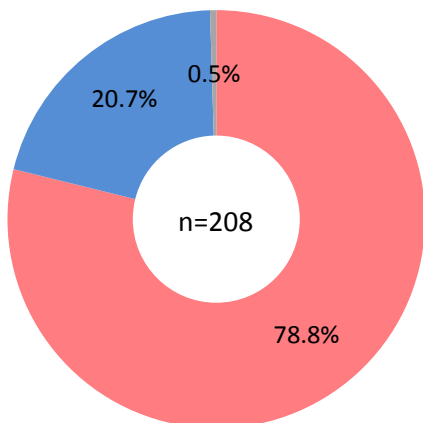
回答者の属性(2)

<現在地（問1）>



分類	県名	回答者数	
熊本県	熊本県	26	
福岡県	福岡県	28	
熊本県・福岡県以外の九州	佐賀県	1	
	長崎県	1	
	大分県	3	
	宮崎県	1	
	鹿児島県	1	
	小計	7	
関東・関西・中部の大都市圏	埼玉県	11	
	千葉県	12	
	東京都	29	
	神奈川県	16	
	愛知県	10	
	京都府	5	
	大阪府	8	
	兵庫県	8	
		小計	99
	その他	北海道	2
茨城県		2	
栃木県		1	
群馬県		1	
静岡県		1	
三重県		6	
滋賀県		1	
奈良県		2	
和歌山県		3	
岡山県		3	
広島県		19	
山口県		1	
香川県		1	
愛媛県		1	
海外	1		
	小計	45	
	無回答	3	
	合計	208	

<出身地（問2）>

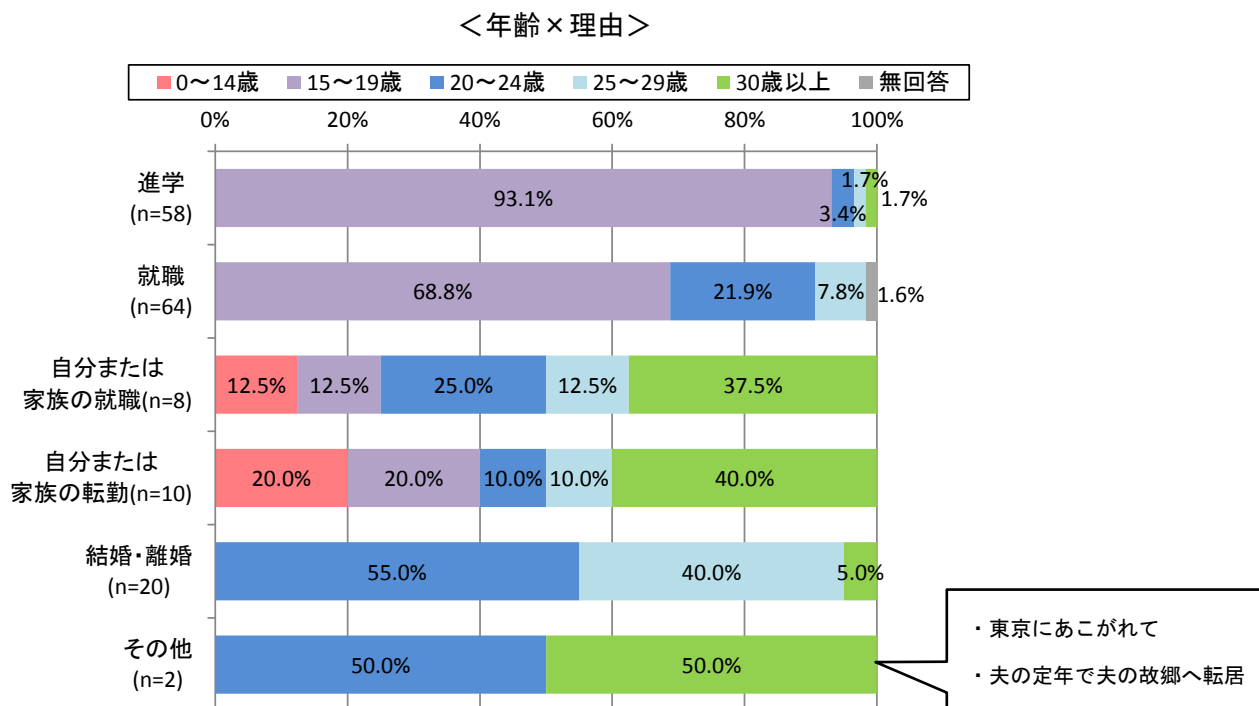
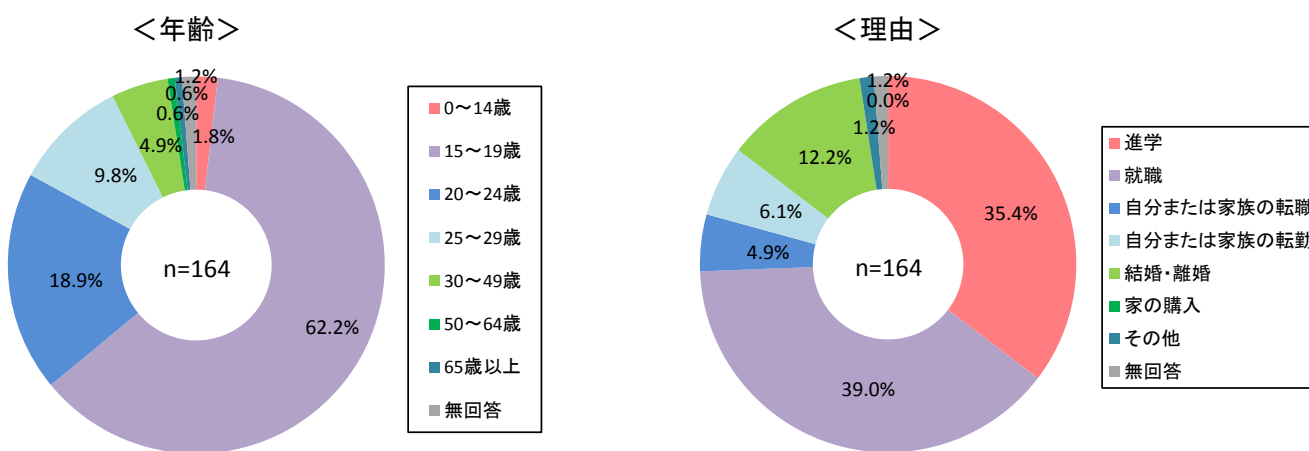


分類	県名	回答者数	
八代市内	—	165	
八代市外	熊本県	22	
	福岡県	2	
	宮崎県	1	
	千葉県	1	
	東京都	5	
	神奈川県	1	
	愛知県	2	
	兵庫県	2	
	北海道	1	
	静岡県	1	
	広島県	2	
		小計	40
		無回答	3
	合計	208	

2-2 八代市を転出した時期・理由

- 八代市出身者について、八代市を転出した時期は 15～19 歳が最も多く 62.2%であり、次いで 20～24 歳の 18.9%、25～29 歳の 9.8%と、10 代・20 代での転出が約 9 割を占めている。
- 転出理由は、就職が 39.0%と最も多く、次いで進学が 35.4%、結婚・離婚が 12.2%である。
- 年齢階層別にみると、進学及び就職のための転出は 15～19 歳が最も多く、自分または家族の就職や転勤に伴う転出は 30 歳以上が最も多い。また、結婚・離婚のための転出は 20 代が約 9 割を占めている。

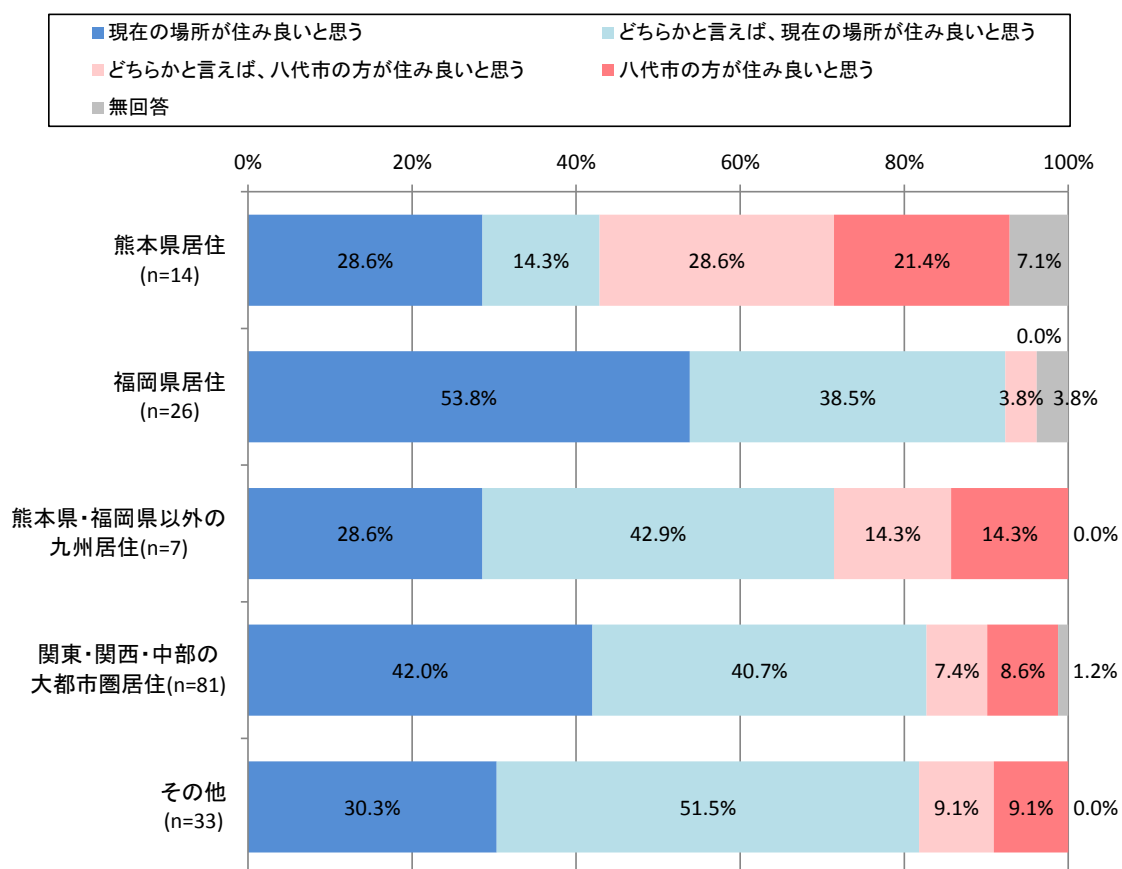
八代市を転出した時期・理由（問 3）



2-3 現在地と八代市の住み良さの違い

- 八代市出身者を対象に、現在地（現在の住所）と八代市を比較していただいた場合、福岡県、関東・関西・中部の大都市圏に居住している回答者については、「現在の場所が住み良いと思う」と回答する割合が最も高くなっている。
- 一方、熊本県に居住している回答者については、「現在の場所が住み良いと思う」及び「どちらかと言えば、八代市の方が住み良いと思う」と回答した方の割合が最も多く、次いで「八代市の方が住み良いと思う」であり、他県に比べ、八代市の住み良さを評価する回答者の割合が高くなっている。

現在地と八代市の住み良さの違い（問4）



- 現在の場所が住み良い理由としては、「交通や買い物等の利便性のよさ」をあげる回答者が多いものの、長年生活した土地で「生活基盤が出来ている」こと、その結果「子どもや家族が近くに住んでいる」「友人・知人が多い」といったことも理由として多数あげられている。
- 一方、八代市が住み良い理由としては、「自然」や「景観」、「物価の安さ」、「家族や友人・知人がいる」こと等が理由にあげられている。

住み良い理由（主な意見）（問8）その1

	現在の場所が住み良い どちらかと言えば、現在の場所が住み良い	八代市の方が住み良い どちらかと言えば、八代市の方が住み良い
熊本県 居住	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の利便性がよい（5人） ・働く場が多い（1人） ・娯楽施設がある（1人） ・友人が多い（1人） ・家族が現在地での生活を望んでいる（1人） <p>【n=6】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物価が安い（2人） ・自然景観がよい（1人） ・生活の利便性がよい（1人） ・交通の利便性がよい（1人） ・老後は実家が落ち着く（1人） <p>【n=7】</p>
福岡県 居住	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の利便性がよい（6人） ・交通の利便性がよい（6人） ・買い物の利便性がよい（4人） ・友人・知人が多い（3人） ・家族が近くに住んでいる（2人） ・都市規模が丁度よい（2人） ・都市部に近い（2人） ・現在地での生活基盤が出来ている（1人） <p>【n=24】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のんびりしている（1人） <p>【n=1】</p>
関東・ 関西・ 中部の 大都市圏 居住	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の利便性がよい（25人） ・買い物の利便性がよい（16人） ・現在地での生活基盤が出来ている（9人） ・医療施設が多い（8人） ・友人・知人が多い（8人） ・生活の利便性がよい（5人） ・大都市に近い（5人） ・働く場が多い（4人） ・文化・娯楽施設が多い（4人） ・子どもが近くに住んでいる（3人） <p>【n=64】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か（4人） ・友人・知人が多い（3人） ・家族がいる（2人） ・物価が安い（2人） <p>【n=13】</p>

住み良い理由（主な意見）（問 8） その 2

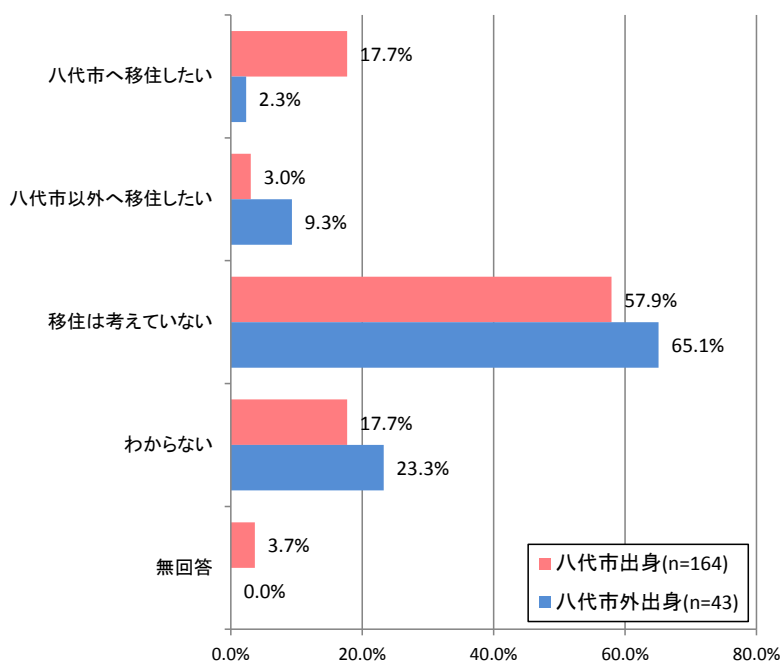
	現在の場所が住み良い どちらかと言えば、現在の場所が住み良い	八代市の方が住み良い どちらかと言えば、八代市の方が住み良い
熊本県・ 福岡県 以外の 九州居住	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の利便性がよい（2人） ・ 八代市は市域が広いので、行政サービスが行き届くのか不安である（1人） ・ 親戚等との交際の煩わしさが少ない（1人） <p style="text-align: right;">【n=5】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊か（1人） ・ 親戚・知人がいる（1人） ・ 生活の利便性がよい（1人） <p style="text-align: right;">【n=2】</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の利便性がよい（9人） ・ 働く場が多い（4人） ・ 買い物の利便性がよい（3人） ・ 友人・知人が多い（3人） ・ 自然災害（台風など）が少ない（3人） <p style="text-align: right;">【n=27】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊か（2人） ・ 広々とした景観がよい（1人） ・ 交通の利便性がよい（1人） <p style="text-align: right;">【n=6】</p>

2-4 八代市への移住意向

(1) 八代市への移住（Uターンなど）意向

- 八代市出身者のうち、「八代市へ移住したい」回答者の割合は 17.7%であり、「移住は考えていない」が 57.9%であった。
- なお、八代市外出身者のうち、「八代市へ移住したい」と考えている回答者は、2.3%であった。

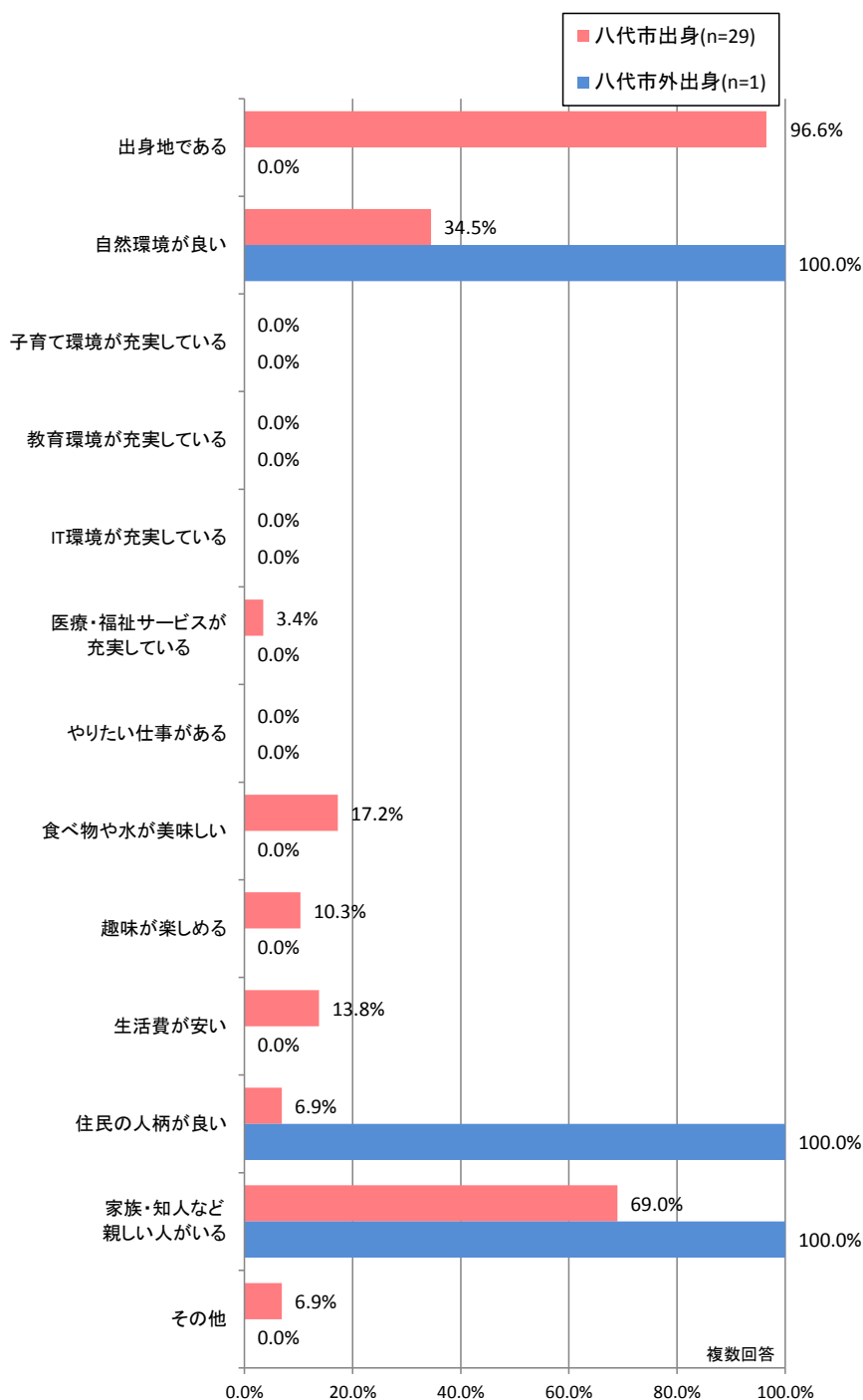
八代市への移住（Uターンなど）意向（問5）



(2) 八代市へ移住（Uターンなど）したい理由

●八代市へ移住したい理由としては、「出身地である」が最も多く 96.6%であり、次いで「家族・知人など親しい人がいる」が 69.0%、「自然環境が良い」が 34.5%となっている。

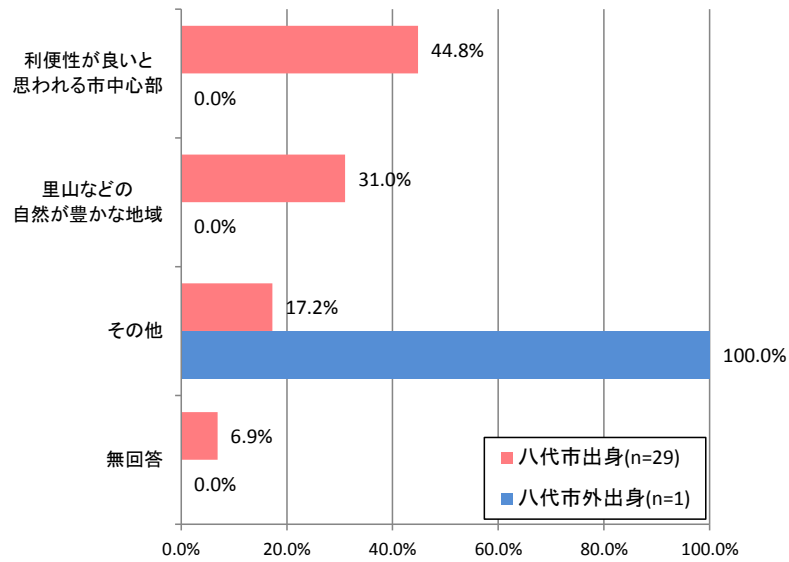
八代市へ移住（Uターンなど）したい理由（問 8）



(3) 八代市内で移住したい地域

●八代市内で移住したい地域としては、「利便性が良いと思われる市中心部」が44.8%と多く、「里山などの自然が豊かな地域」への移住を希望する回答者も31.0%存在する。

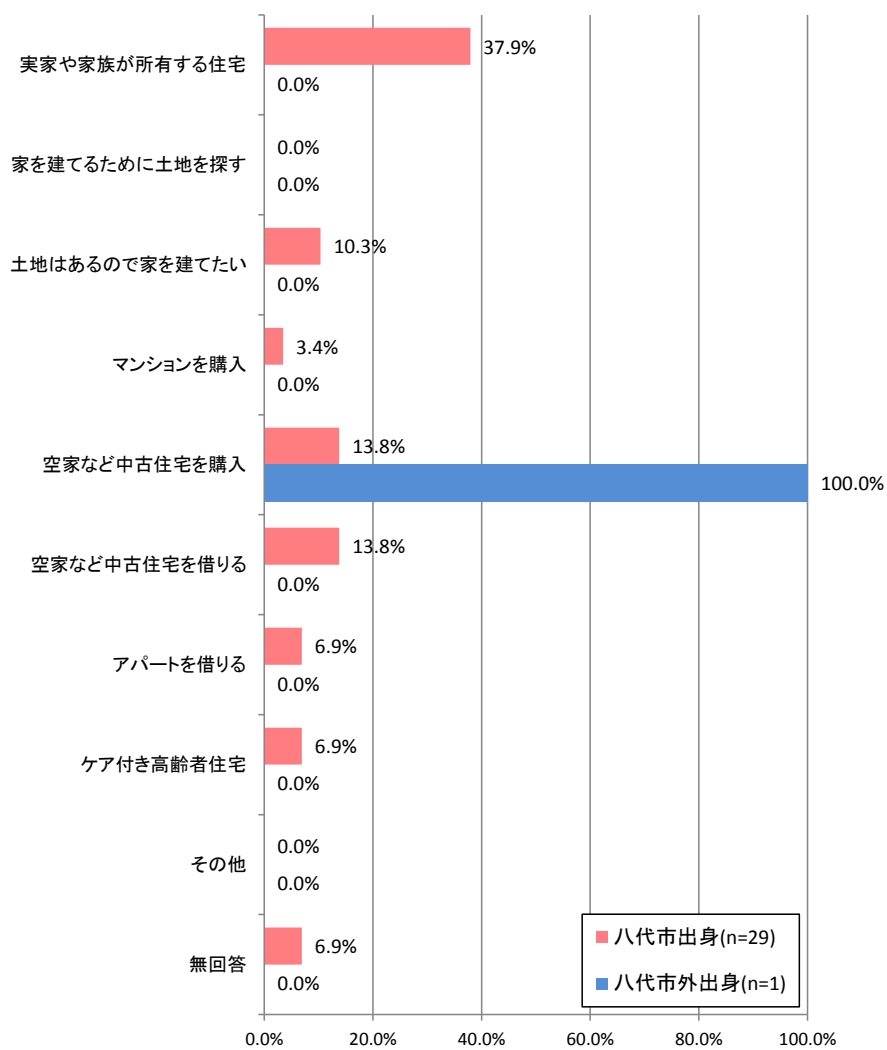
八代市内で移住したい地域（問9）



(4) 八代市内での住まいの形態

●八代市内での住まいとしては、「実家や家族が所有する住宅」が最も多く 37.9%であり、次いで「空家など中古住宅を購入」及び「空家など中古住宅を借りる」が各々13.8%となっている。

八代市内での住まいの形態（問9）

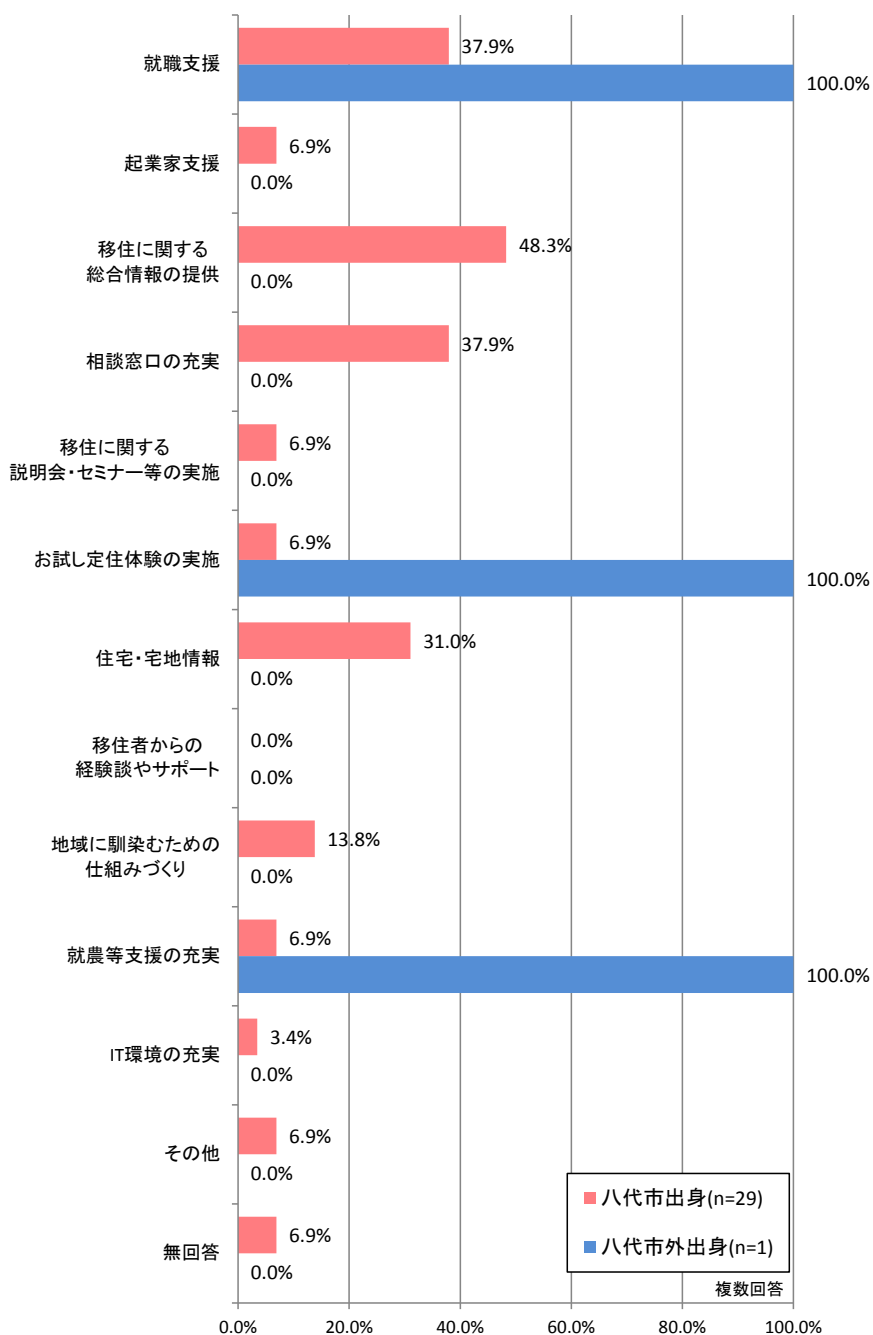


2-5 八代市への移住時に必要な情報・支援

(1) 八代市への移住時に必要な情報・支援

- 八代市への移住時に必要な情報・支援としては、「移住に関する総合情報の提供」が最も多く48.3%であり、次いで「相談窓口の充実」、「就職支援」が多く、各々37.9%である。
- また、八代市内での住まいとして、空屋や中古住宅を希望している回答者が多いことから、「住宅・宅地情報」(31.0%)に対するニーズも、3番目に高くなっている。

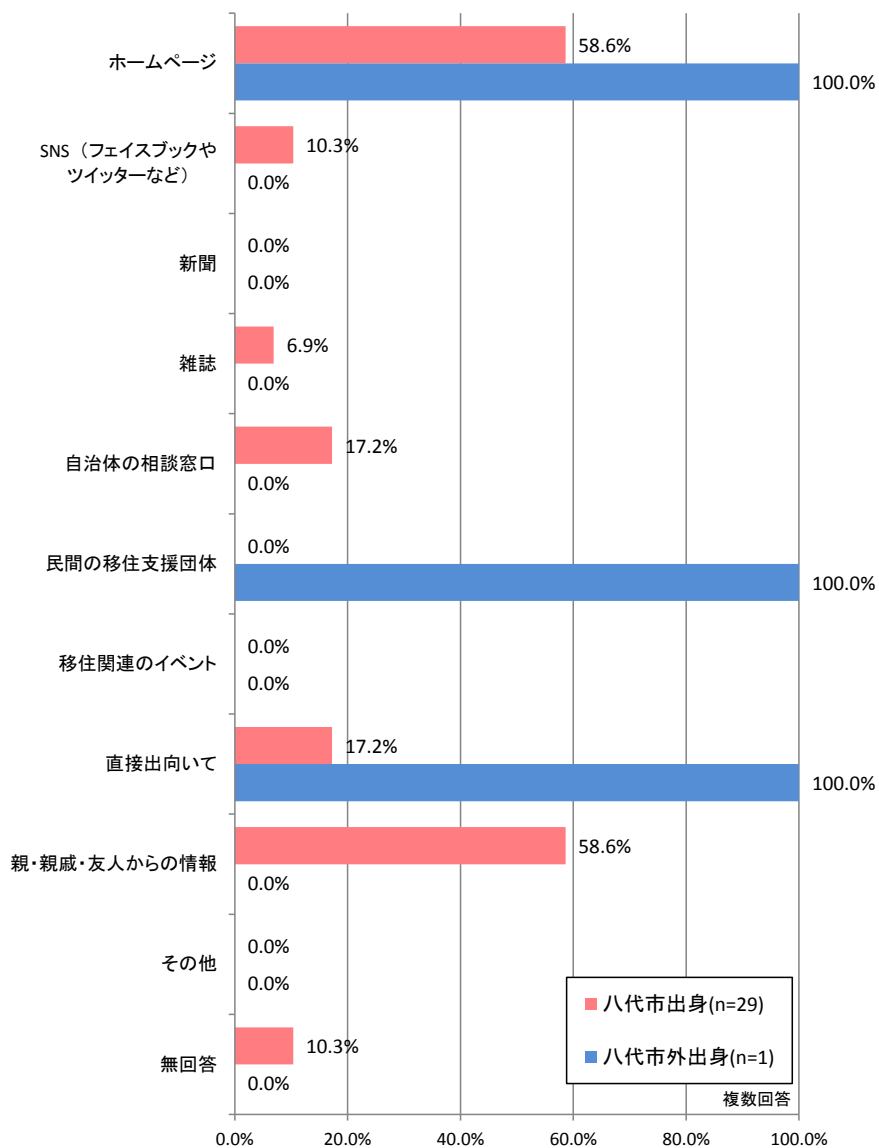
八代市への移住時に必要な情報・支援等（問10）



(2) 八代市への移住に関わる情報収集方法

- 八代市への移住に係る情報収集方法としては、「ホームページ」及び「親・親戚・友人からの情報」が最も多く、各々回答者の6割を占めている。
- 次いで、「自治体の相談窓口」、「直接出向いて」が各々17.2%と多い。

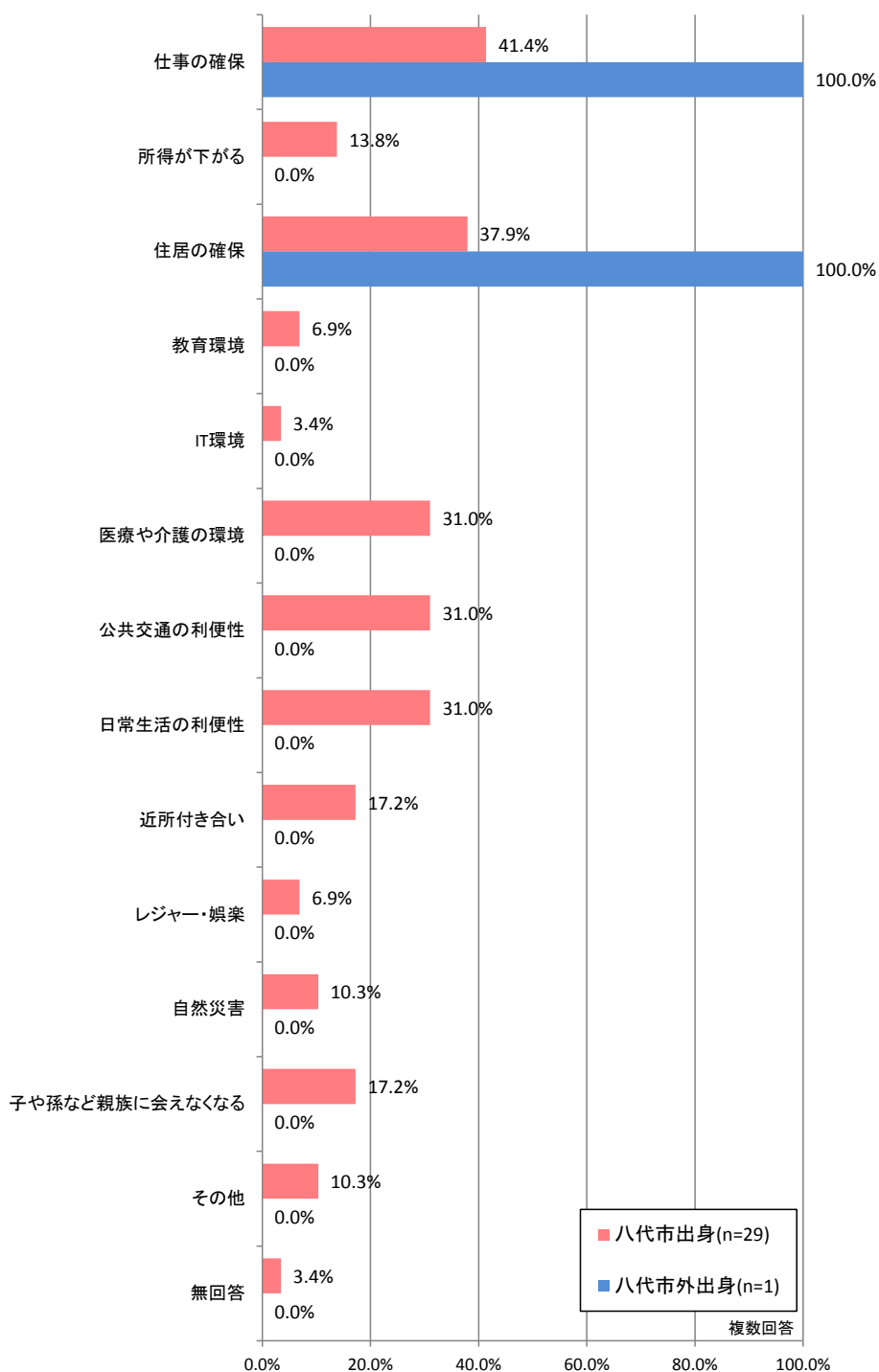
八代市への移住に関わる情報収集方法（問12）



(3) 八代市への移住時に不安なこと

- 八代市への移住時に不安なこととしては、「仕事の確保」が最も多く 41.4%であり、次いで「住居の確保」(37.9%)と、移住後の生活の基盤となる働く場所と住む場所に関する事項が、大きな不安要素となっている。
- 次いで、「医療や介護の環境」、「公共交通の利便性」、「日常生活の利便性」が各々31.0%と多く、生活利便性に関する事項も不安要素に挙げられている。

八代市への移住時に不安なこと（問 11）

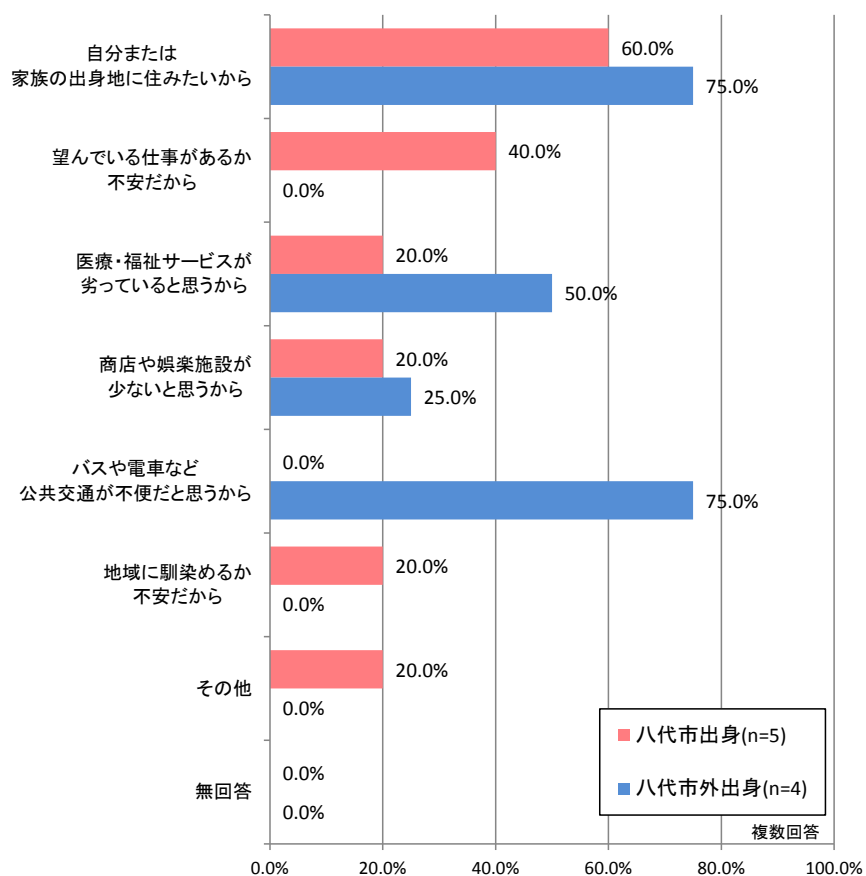


2-6 八代市を移住先に選ばない理由

(1) 八代市を移住先に選ばない理由

- 八代市出身者のうち、八代市を移住先に選ばない理由としては、「自分または家族の出身地に住みたいから」が最も多く60.0%となっている。
- 次いで多い理由は、「望んでいる仕事があるか不安だから」(40.0%)であり、「仕事」が移住先選定の大きな要因になっているといえる。
- また、八代市外出身者が、八代市を移住先に選ばない理由としては、生活利便性に関する「バスや電車など公共交通が不便だと思うから」(75.0%)、「医療・福祉サービスが劣っていると思うから」(50.0%)が多い。

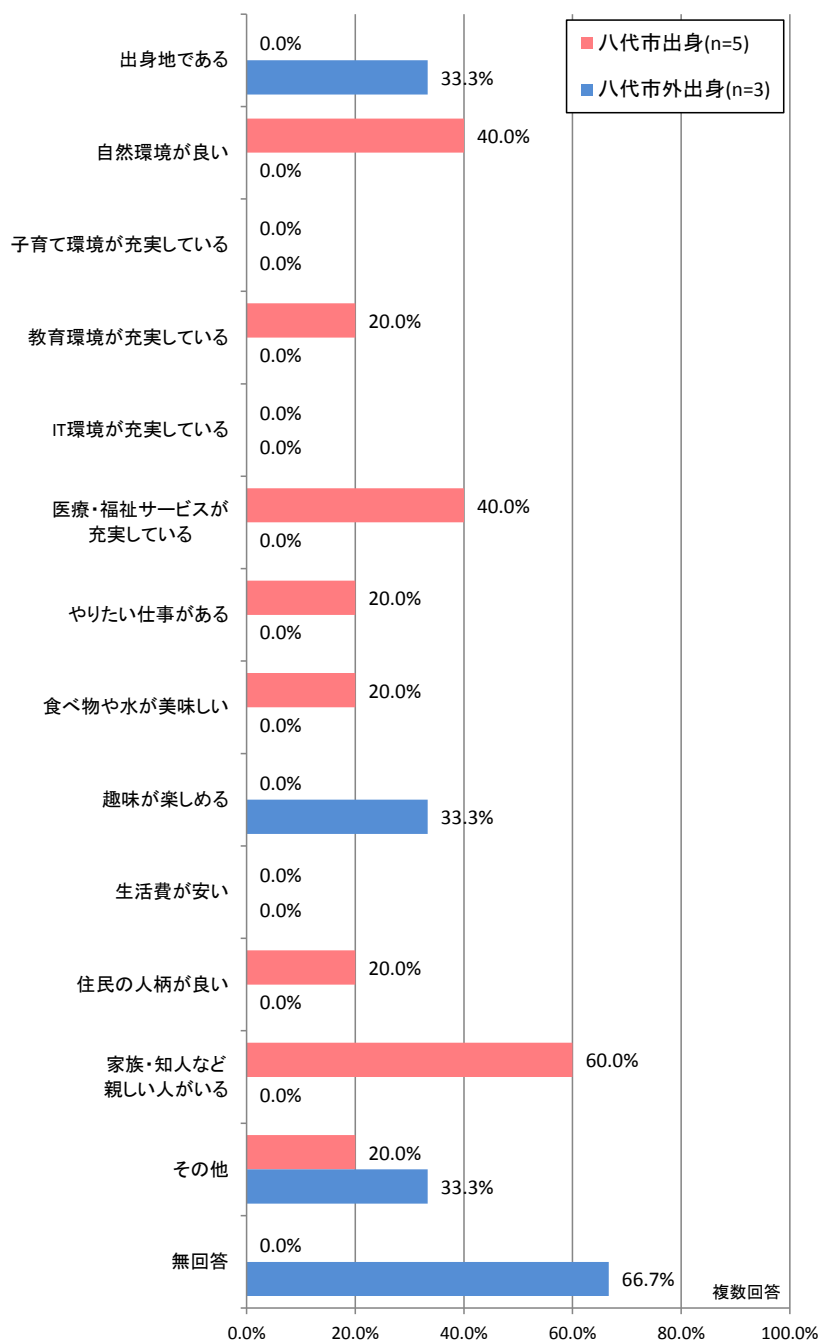
八代市を移住先に選ばない理由 (問6)



(2) 八代市以外へ移住（Uターンなど）したい理由

●八代市出身者のうち、八代市以外へ移住したい理由としては、「家族・知人など親しい人がいる」（60.0%）に次いで、「医療・福祉サービスが充実している」（40.0%）が多い。

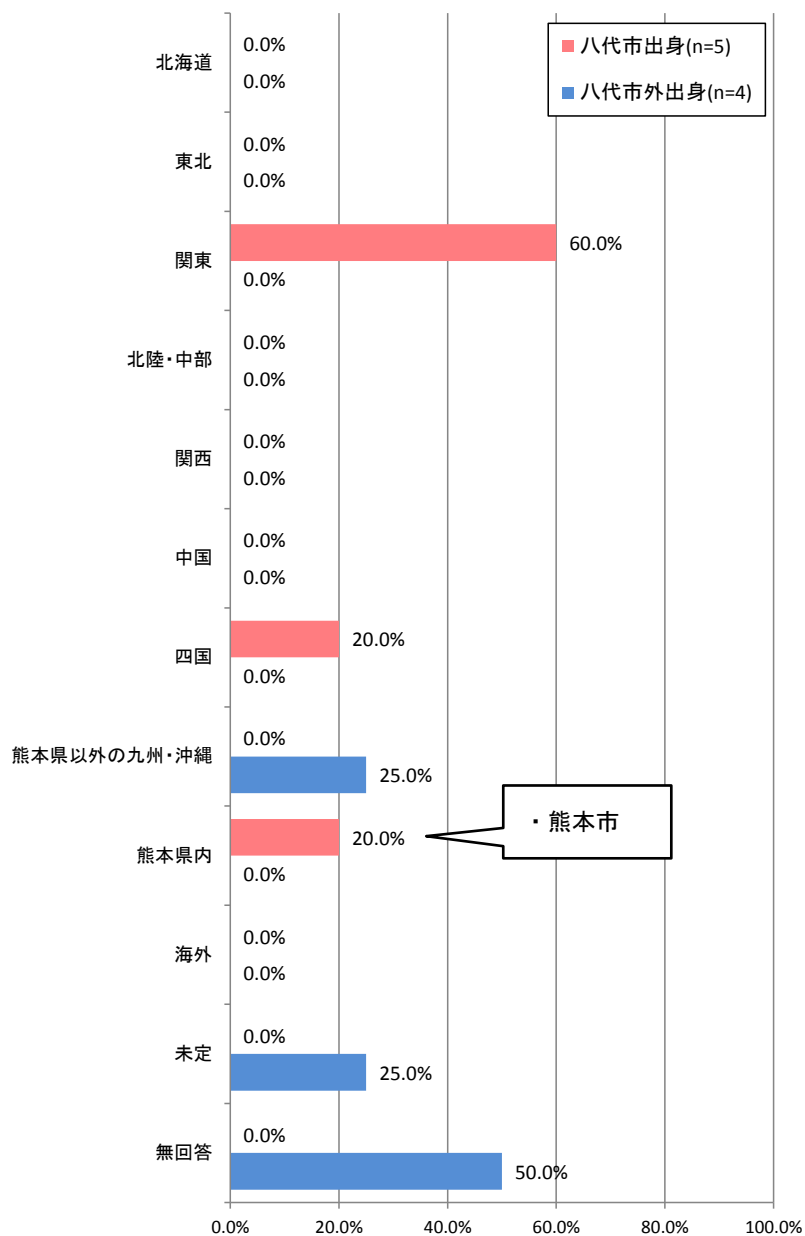
八代市以外へ移住（Uターンなど）したい理由（問8）



(3) 八代市以外の移住候補地

●八代市出身者の移住候補地としては、「関東」が60.0%と最も多く、「四国」、「熊本県内」が各々20.0%となっている。

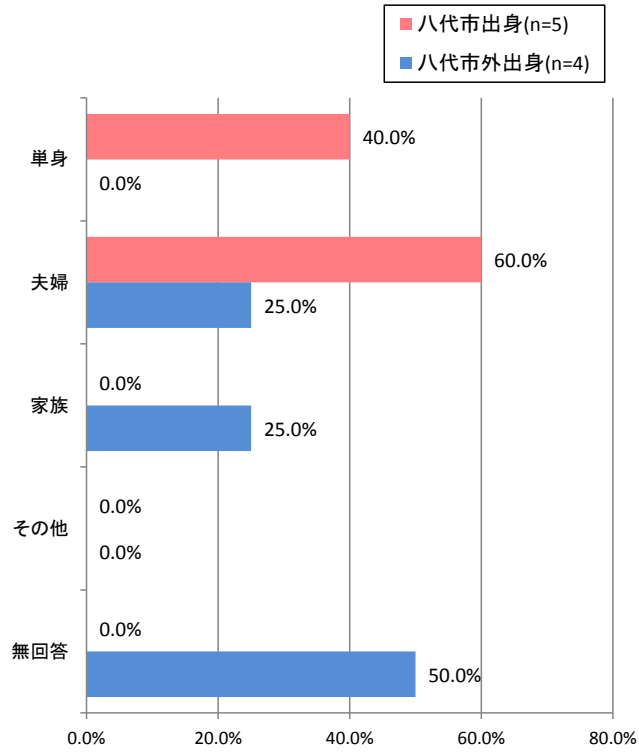
八代市以外の移住候補地（問7）



(4) 八代市以外への移住の形態

●移住形態は、「夫婦」(60.0%)、「単身」(40.0%)である。

八代市以外への移住の形態 (問7)



2-7 八代市での暮らしのイメージ

(1) 暮らしやすい面

- 八代市出身者のうち八代市への移住を考えている回答者は、「家族や友人・知人が多い」、「物価が安い」、「自然が豊か」、「農水産物が豊富」、「人柄が良い」、「ゆったりとしている」といった点を、八代市での暮らしやすさとイメージしている。
- また、八代市出身者のうち八代市への移住を考えていない回答者は、上記に加え、「隣人との交流がある」ことを、八代市での暮らしやすい面として挙げている。
- なお、八代市以外の出身者で、八代市への移住を考えていない回答者の中には、「街がコンパクト」といった点を、八代市の暮らしやすい面としてイメージしている。

八代市での暮らしやすい面(主な意見) (問 13)

	八代市へ移住したい	八代市以外へ移住したい 移住は考えていない
八代市出身	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や友人・知人が多い (7人) ・ 物価が安い (4人) ・ 自然が豊か (3人) ・ 農水産物が豊富 (2人) ・ 人柄が良い (2人) ・ ゆったりしている (2人) <p style="text-align: right;">【n=29】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊か (20人) ・ 物価が安い (17人) ・ 農水産物が豊富・新鮮・おいしい (15人) ・ 家族や友人・知人が多い (12人) ・ のんびりしている (11人) ・ 人柄が良い (10人) ・ 隣人との交流がある (8人) <p style="text-align: right;">【n=100】</p>
八代市以外出身	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農水産物が豊富 ・ 人柄が良い <p style="text-align: right;">【n=1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊か (5人) ・ 農水産物が豊富・おいしい (5人) ・ 街がコンパクト (市街地に施設が充実している) (5人) ・ 人柄が良い (2人) ・ 空気がきれい (2人) <p style="text-align: right;">【n=32】</p>

(2) 暮らしにくい面

- 八代市出身者のうち八代市への移住を考えている回答者は、「公共交通の利便性が少ない」、「商業施設が少ない」、「医療施設が少ない」点を、八代市での暮らしにくい面とイメージしている。
- また、八代市出身者のうち八代市への移住を考えていない回答者は、上記に加え、「中心市街地に活気がない」、「就業先が少ない」ことを、八代市での暮らしにくい面として挙げている。

八代市での暮らしにくい面(主な意見) (問 13)

	八代市へ移住したい	八代市以外へ移住したい 移住は考えていない
八代市出身	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性が低い(車がないと生活できない)(11人) ・商業施設が少ない(2人) ・医療施設が少ない(2人) <p style="text-align: right;">【n=29】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性が低い(車がないと生活できない)(34人) ・商業施設が少ない・遠い(14人) ・中心市街地に活気がない(10人) ・就業先が少ない(7人) <p style="text-align: right;">【n=100】</p>
八代市以外出身	<ul style="list-style-type: none"> ・回答なし <p style="text-align: right;">【n=1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性が低い(5人) ・街に活気がない(2人) ・排他的(2人) <p style="text-align: right;">【n=32】</p>